たもんじ交流農園便り

2025年4月号
Vol.85

「たもんじ交流農園便り」発行７周年に寄せて

墨田区長　山本　亨

このたびは、「たもんじ交流農園便り」発行７周年、誠におめでとうございます。

2018年３月17日「たもんじ交流農園 第１期開園式」にお招きいただいた当時、まだ農園の半分以上が開墾前であったことを思い出します。

それから７年、「たもんじ交流農園」は、区内唯一の市民緑地として、多くの方々の笑顔あふれる交流を育んでいます。「緑の少ない墨田区に交流農園を」との熱い想いから、「ＮＰＯ法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会」の皆様が中心となって、地域の皆様と力を合わせて活動を展開し、今では、まちなかで農作業ができる場、多様な世代の方が楽しく集える場、子どもたちの食育体験の場などとして、その活動が広がっていることに深く敬意を表します。

さらに、私自身といたしましては、「青果リレー」エンディングでの寸劇の際、寺島茄子之介の帽子を被り、刀を渡され、即興で、様々な“世相”を切ったり河童や狸を退治したりと、牛久理事長の少々「無茶振り」なリクエストに、ここ一番の演技力を発揮し、皆様から温かい拍手をいただいたことは、とても楽しい思い出の一つです。

区では、これからも、人と人とのつながりを大切にしながら、たもんじ交流農園で活動をされる皆様をはじめとする多くの方々とともに、地域力日本一を目指し、魅力や活力にあふれるまちづくりに取り組んでいきます。今後とも皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本誌の発行７周年を機に、「たもんじ交流農園」が、みんなで夢を描ける場所として、ますます発展していくことを願うとともに、「ＮＰＯ法人寺島・玉ノ井まちづくり協議会」の皆様、土地をご提供いただいた多聞寺の皆様をはじめ御関係の皆様に深く感謝を申し上げ、お祝いの言葉といたします。

（写真の選択とキャプション：末林）

2018.3.17 第１期開園式

2017.9.23「江戸に浸かる。」で狸を斬る

2018.9.18 寺島茄子之介姿で河童と歌う

2020.9.26　567(コロナ)を斬る

2020.8.22 すみだ子供 PR 大使と

2022.4.10　トーチキスをつなぐ

2023.8.6「寺島なす★祭り」アンカー

2024.10.6　斬ってはいけないもの

はじめました!!

いくつになっても、新たに″はじめる″ことってあるものですよね。新たなことを始めることの先には必ず「成長」や「感動」があるハズです。たもんじ交流農園便り会員さん持ち回り執筆企画第５弾は『はじめました！』です。最近『はじめた』こと『はじめ』ようと思っていること、教えて頂こうと思います〉

連載 第２回 白田さん(区画２－１)の場合

私は旅好きでしばしば旅行に出かけます。最近旅先で地元でしか売っていなさそうな苗・種をお土産に買うことをはじめました。

石垣島です（誰かわかりませんが）

バスツアーでも個人旅行でも、道の駅やショッピングモールなどに立ち寄ることは多いと思いますが、地方にいくと大型の駐車場を備えているところにはホームセンターやＪＡの直売場などが併設されているところが多くあります。そんな場所では銘菓や地酒を選ぶ売り場は二の次で、まずは苗・種探しをします。こうした売り場は地元の農家さんや家庭菜園愛好家が利用されるのだと思いますが、東京では目にすることがない品種を見つけることができます。

写真の種は新潟、長野、石垣島で買ったもので、昨秋は畑で菜っ葉類、にんじん、大根を栽培しました。気候風土の違いか雨不足もあってかアブラムシがついてあまりうまくいきませんでしたが、今年も再チャレンジしようと思っています。

新潟、長野、石垣島の種みやげ

月桃の葉

月桃は沖縄方面で抗菌効果や保湿リラックス効果で知名度があり、お茶や化粧水などお土産で見かけることも多いショウガ科の多年草です。観葉植物として販売されているのでご自宅で愛でている方もいらっしゃるかもしれません。買ってきた種は発芽まで２か月かかりましたが、夏場はベランダ、冬場は室内で育てて無事に１年目の越冬をすることができました。今年は株分けしたりお茶をつくったりしてみようと思っています。旅の思い出にずっと浸ることができて、２度おいしいのが苗・種みやげです。

この春、新たな!!

新・農園のお隣さんご紹介

耕作区画返却に伴う新耕作者抽選会が 3/2(日)行われ、「おもちゃの釣り堀」方式(当たりのカードを含む複数のカードに紐をつけてそれを束ねたものの中から順番に引いて頂く)で行われた”厳正なる抽選”の結果、農園の新たな仲間が誕生いたしました。

①　自己紹介、②育ててみたい野菜、③希望するイベントや講演会、④農園にかける想い等

区画 12-1　小山厚子さんと鐘ヶ淵イーグルス中等部の仲間たち

① はじめまして！鐘ヶ淵イーグルスの保護者で農園同好会を始動しました。とは言っても、全員が素人の為、周りの方々にいろいろ教えて頂きながら、楽しんで出来たらと思っています。よろしくお願いいたします。

② じゃがいも、にんじん、枝豆、トマトなど、季節に合わせていろんなものに挑戦してみたいと思います。

③ 初心者でも行える栽培テクニックを知りたいです。

④ 昨年野球チームのバーベキューイベントで、たもんじ交流農園をお借りさせて頂いた際、農園を見させて頂き、たくさんの元気な野菜たちを見て「ぜひやってみたい！」と思い、抽選に申し込ませて頂きました。11 倍という倍率の中、畑をお借りさせていただくことができ、とてもワクワクしています。イーグルスの子供たちに、合宿などで食べさせてあげられるような、カレーやサラダなどの材料を作れたらなぁと思ってます!!

大盛り上がりだった昨年８月の鐘ヶ淵イーグルスのバーベキュー

植えたばかりの苗を見守るのは…?

NEXT STAGE
～次に私がしたいこと～

第22回 ボーンさん(区画1－2①)

“改めて仏教の勉強を始めました”

今回、記事を書かせていただく、ボーンと申します。「はじめまして」の方はほとんどいらっしゃらないと思いますが、たもんじ交流農園での野菜づくりに参加しながら、農園の雑草取りや枝の剪定、竹チップづくりの作業をさせていただいているNPO法人カラフル・コネクターズ、就労継続支援Ｂ型事業所カラコネオフィスの理事長をしています。

カラコネオフィスは障害のある方（利用者）の就労支援や生活支援、余暇支援などをしていますが、たもんじ交流農園の作業は、はじめは余暇活動の一環として始めました。コロナ禍が始まった２０２０年、余暇活動をするにも人の多いところや屋内施設に利用者を連れて行くことが憚られ、余暇活動ができる屋外施設はないかと探しているときに、畑作業をしてはどうかと思いつきました。はじめは営利目的の貸農園を利用していましたが、植えるための種や苗が時期に合わせて用意され、失敗がない代わりに自由度もないことが不満で、別の農園を探していたところ、牛久さんと小川さんの寺島なすに関する講演をお聞きしたことをきっかけに、たもんじ交流農園での畑作業が始まりました。たもんじ交流農園との出会いは余暇活動の充実だけでなく、寺島なすの栽培や雑草取りの作業、クラフトコーラの試飲会などを通して農園の皆さんと交流できていることが、想像以上に利用者にも良い影響があるようです。カラコネオフィスは「人・もの・街をつなげよう！支え合おう！」をテーマに運営していますので、運営方針とも合致し、たもんじ交流農園（てらたま協議会）と出会えて、本当に良かったと思っています。

さて、本題の「NEXT STAGE～次に私がしたいこと」についてお話します。「ハマる」という表現はたぶん相応しくなく、関係者からは怒られそうなので違う表現をすると、「私がこれから専念しようとしているもの」ということになると思います。

実は、この４月６日から、仏教（浄土真宗）の勉強を始めています。１年間の勉強の後、筆記試験と実技試験に合格すれば、来年の６月に得度（出家）することになります。先月末には入堂式（入学式）が京都の浄土真宗大谷本願寺派（東本願寺）の関連寺院で行われ、出席してきました。

私は中学生の頃、人が生きるとは、死ぬとはということに関心を持ち、『チベット死者の書』を愛読するような子供でした。学問としての仏教を学びたい、という気持ちも徐々に湧いてきたのですが、大学は一般の総合大学に進み、文学を勉強しました。社会人になった後も、仏教の視点から死生学を学びたいという気持ちは消えることはなく、３６歳で仕事を辞め、サンフランシスコにあった仏教系のホスピスでボランティアとして働いた後、３８歳の時に、日本で仏教系の大学に編入し、死生学と仏教系のホスピスのあり方について学ぶ機会を得ました。その時の経験や出会いがきっかけとなり、今の障害者福祉の仕事につながるのですが、これまで、学問としての仏教や死生学には興味を持ったものの、仏教そのものの信仰を深めることはしてきませんでした。私は９２歳の母を一昨年見送り、自分も昨年、６５歳になりました。自分の死もより身近なものに感じられるようになり、仏教をきちんと信仰の対象として受け入れ、向き合ってみようと思うようになりました。その上で、社会における人生最後の『役割』を僧侶として果たしていきたい、という気持ちが沸き上がってきました。

まだ僧侶になれるかも分かりませんが、もし、浄土真宗の僧侶としての役割を与えられた場合には、今も関わっている、障害のある方たちや、性的マイノリティの方たち、路上生活を強いられている方たちなど、社会的な困難を抱えている方たちに寄り添い、残りの人生をより良く生きるためのあり様を一緒に考えていけたらと考えています。

人の生死に興味を持った中学生の頃から数えて、実に５０年以上の時が流れてしまいましたが、ここを目指して私は自分の人生を歩んで来たのだと強く感じています。浄土真宗の僧侶としての勉強は出家後も数年は学校で、さらにその後も一生をかけて学ぶものだと聞いています。勉強やボランティア活動に注力するために、NPO法人の理事長は７月に今の副理事長にバトンタッチしますが、カラコネオフィスとはもうしばらく関わり続けます。てらたま協議会の皆さんとは今後もお付き合いをさせていただけたらと思っています。これからもどうぞ、よろしくお願いします。

3/30(日)すみだNPOフェスティバルに参加!!

NPO 寺島・玉ノ井まちづくり協議会

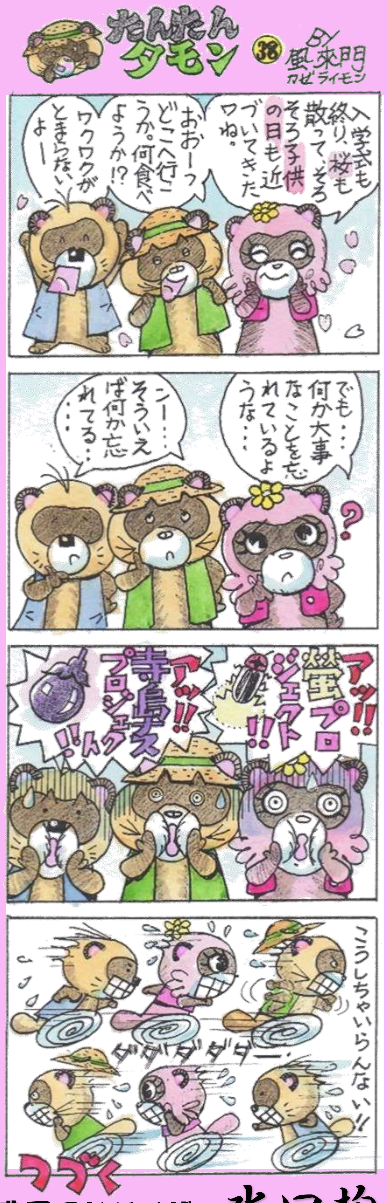
3/29(土)30(日)隅田公園そよ風ひろばにて「第18回　すみだNPOフェスティバル」が開催され、てらたまとして出展すると共に、30(日)14:00からは、チームうめわかさんとコラボでステージ発表の時間を頂き、「チームうめわか紙芝居」、「チームうめわか音頭」に続いて「寺島茄子之介音頭」を披露、また隣接するテントでは、牛久理事長による「すみ里プロジェクト」の活動報告を実施し、来場者に興味を持って頂きました。

4/12(日)「寺島なす」の土作りとお花見!!

「寺島なす」レジェンドの坂本さんご指導のもと、たもんじ交流農園会員の皆さん、親子遊びの会のお子様に親御さん、土を練って、肥料を混ぜて、頑張りました。その後、たもんじ交流農園に場所を移し、農園プランター用土づくりに引き続き汗をかいた後にはぐくみの桜のお花見会!!今年の「寺島なす」とっても楽しみです。

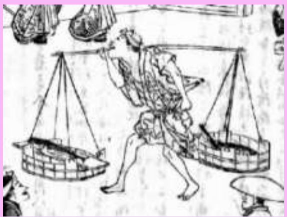
今年もやります!!　「寺島なす苗」販売は、4/29(火・祝)

日時:2025年4月29日(火・祝)10:00～15:00(売切終了)
場所:東向島駅高架下(寺島なすプランター付近)
価格:苗木350円/本(3本で1000円)
　　　土　300円/袋～数に限りがございます。
苗・筒ともに売り切れの際はご容赦ください。


たんたんタモン
㊳
BY 風來門
カゼライモン
入学式も終り、桜も散って、そろそろ子供の日も近づいてきたワね。
おおーっどこへ行こうか。何食べようか!?
ワクワクがとまらないよー
でも…何か大事なことを忘れているような…
ンー…そういえば何か忘れてる…
?
アッ!! 蛍プロジェクト!!
アッ!! 寺島なすプロジェクト!!
ダダダダダー
こうしちゃいらんない!!
つづく

シリーズ!!『江戸の食生活と野菜たち』～第2回～

農園アドバイザー**水口均**



東都歳時記より

庶民は「棒手振（ぼてふり～天秤棒に籠をつるして商品をのせて売り歩く人）」などによって野菜を購入していましたが、侍は下屋敷内に畑を持ち、そこで地元の野菜を育てて上屋敷に住む大名などの食事に供していました。

参勤交代の制度が確立されると、下屋敷で作る野菜は、国元から持ち込む種で作られ、不足した野菜を農家から購入する際に、農家にもその種がもたらされた結果、近隣に広がり、街道筋には種屋という商売が成り立っていきます。地方から持ち込まれた種が、参勤交代の帰りのお土産として全国に広がり、その地の伝統野菜となっていくことになります。参勤交代は幕府が地方大名の勢力拡大を防ぐための施策でしたが、食の世界では種の流通に大きな役割をもたらしました。

東京に住んでいると江戸時代の歴史的地名がどんどんなくなっていくことに気が付きます。たもんじ交流農園で作っている「寺島なす」の寺島という地名も現在は学校の名前として残っているだけとなっています。これは明治以降の政府の意向が大きくかかわっています。現在の東京でも、多摩地域は明治になってから神奈川県から移管され、島しょ地域は静岡県から移管されています（それぞれ政治的な意味合いもあったようですが）。江戸のことを考える時には現在の地区割ではなくその時代の地名や区割りを見ながらの方がわかりやすいと思います。(第3回に続く)

「寺島なす苗」販売:4/29(火・祝)10:00～15:00 (上記)、**Free Coffee**: 4/29(火・祝)12:00～13:00
「だがしやの森」: 5/4(日):13:00～15:00　ハッピースマイル（皆川さん代表）の子供達が、たもんじ交流農園を駄菓子でーぱいの森に変身させます。参加費(くじ4回分):こども300円、大人500円、**水口アドバイザーご指導日**: 5/11(日)　6/8(日)　各10:00～15:00　**わいわいおしゃべりタイム**: 5/18(日)　10:30～
「ゴパン作り教室」:5/25(日)9:30～中西さん主催、詳細は後日、**農園部作業日**:毎週日曜　8:30～

たもんじ交流農園便り
№85 般 2025.4.24 発行
題字　田村風來門
編集　末林和之

HomePage

てらたま協議会
(NPO法人　寺島・玉ノ井まちづくり協議会)
問い合わせ先　小川 剛(080-3421-3115)
セブン-イレブン記念財団 (2018年 2020,年に助成金を頂きました)

FaceBook